

Ⅰ 学校教育目標 学び合い ちがいを力に ひらく未来											
Ⅱ 前年度に残された課題			Ⅲ 本年度の重点課題				Ⅳ 来年度に残された課題				
○いじめ対策の周知と居場所づくりの強化 いじめのない学校づくりについて「分からない」とする保護者が15％いることから、情報発信の充実が課題であり、今後は、学校だより・ホームページなど、多様な手段でいじめ防止の取組を周知する。 ○規範意識の向上 名札着用は向上した一方、廊下歩行の低下が課題である。全校で共通の生活目標を設定し、継続的に指導できる体制の強化が必要である。 ○主体的学習と学習習慣の確立 学習に関する肯定的回答が80％台にとどまっていることが課題である。朝学習の活用や個別最適な学習環境の整備を進め、主体的に学ぶ態度と学習習慣の定着を図る。			①主体的に学ぶ態度を育み、気づき、考え、行動できる力を伸ばす。 ②活動を楽しみ、心身の健やかな成長を支える。 ③たてわり活動などを通して、なかまを大切にし、共に生きる力を育む。 ④出前授業や体験活動を通して、地域資源を生かした学びを充実させる。 ⑤共に語り合い、創意工夫を重ねる教師集団を目指す。 ⑥あいさつを大切にし、自ら進んで行動する力を地域と共に育む。								
「1」 （重点課題番号） 評価項目	[2]具体的達成目標と評価指標		[3]自己評価		[4]外部アンケートの分析		[5]自己評価		[6]学校関係者評価		
	具体的に、何を、いつまでに、どの水準まで、数値化	公表日	中間評価		児童生徒アンケート		保護者アンケート		最終評価(成果と課題)	課題の改善策等	評価者人数
			評価日	実施日	実施日						
			公表日	公表日	公表日						
			公表方法	公表方法	公表方法						
☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他	☐ ホームページ ☐ 文書配布 ☐ 説明会実施 ☐ その他						
①	○ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現する授業改善を進め、児童が自ら考え、対話し、学びを深める授業を実践する。 ○ Myチャレンジタイムを定期的 に実施し、児童が自分で内容や方法を考え、振り返りながら主体的に学ぶ力を育てる。 ◎「自分の意見や考えを進んで発表している」と、回答する児童の割合を85％以上にする。 ◎「わからないことを自分で調べたり、友達に聞いたりしている」と、回答する児童の割合を85％以上にする。										
②	○二小げんきプロジェクトを年間を通して組織的に実施する。 ○異学年交流による音楽活動を充実させ、自己表現や互いのよさを認め合う機会を増やす。 ◎「運動や外遊びが楽しい」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎「みんなで歌ったり演奏したりすることが楽しい」と回答する児童の割合を90％以上にする。										
③	○二小タイム及びたんぼぼタイムを年間を通して計画的に実施し、異学年交流を充実させる。 ○ いじめ防止に関する取組を計画的に実施し、児童・保護者への周知と啓発を進める。 ◎「縦割り活動を通して、楽しく活動することが出来ている」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎「学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる」と回答する保護者の割合を80％以上にする。										
④	○二小コミュニティ協議会と連携し、地域人材を活用した教育活動を計画的に実施する。 ○地域の特色を生かした地域学習を充実させる。 ◎「地域の方と関わりながら学ぶことができている」と回答する児童の割合を85％以上にする。										
⑤	○ミニ研修を月3回実施し、教職員の学び合いを推進する。 ○ノー残業デーを毎週金曜日に設定し、働き方改革を推進する。 ◎「互いに学び合いながら授業改善や教育活動に取り組んでいる」と回答する職員の割合を80％以上にする。 ◎「働きやすい職場環境である」と回答する職員の割合を80％以上にする。										
⑥	○職員が毎朝昇降口であいさつを行うとともに、地域と連携したあいさつ運動を推進し、温かな学校づくりを進める。 ○全校朝の会や学級での指導等を活用して月めあてや学校生活のきまりを継続的に指導し、規範意識の向上を図る。 ◎「進んであいさつができてい る」と回答する児童の割合を90％以上にする。 ◎「二小のきまりを守っている」と回答する児童の割合を85％以上にする。										